

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設	設	汐見台病院
指定管理者	者	公益社団法人神奈川県医師会
指定期間	間	H23. 4. 1 ~ H28. 3. 31
施設所管課	課	病院事業課 ()

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

より多くの患者を受け入れられるよう地域医療機関との連携に力を入れた結果、入院患者数が前年度比3.5%の増となり、収支状況も改善したことから、B判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況について、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月18日	5月22日	○	×	×	無	
5月	6月19日	7月6日	○	×	×	無	
6月	7月19日	8月1日	○	×	×	無	
7月	8月17日	9月11日	○	×	×	無	
8月	9月20日	9月24日	○	×	×	無	
9月	10月18日	10月25日	○	×	×	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	救急医療 自主救急体制の実施、横浜市救急病院輪番体制及び二次救急病院輪番体制への参加	救急患者数 H24上半期合計 1, 330人

	提案内容	実施状況
2	開放型医療 患者紹介、共同診療、検査受託等の地域医療機関との連携	開放型医療 H24上半期 患者紹介率 31.1%、逆紹介率 16.8%、 共同診療 延38件、検査受託 437件
3	腎疾患専門医療 腎不全の治療、腎移植患者の管理、月～土曜日まで1日2 サイクルの外来透析治療の実施	腎疾患専門医療 人工透析 H24上半期 入院延患者数 674名、 外来延患者数 3,224名
4	医療従事者の教育 看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士等を目指す臨床実習 生の受入	医療従事者の教育 H24上半期実習生受入状況 実人数197名 (内訳) 看護師185名、薬剤師4名、 栄養士4名、理学療法4名
5	産科医療 月72件の分娩を受けられる体制の確保	産科医療 H24上半期 分娩実施件数 400件
6	臨床研修医の受入 毎年2名の臨床研修医の受入	臨床研修医の受入 H24年9月末時点 2名

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		766,375	4,143,331	3,300	4,913,006	4,913,006	0
予算額	前年度	765,075	4,101,007	3,300	4,869,382	4,869,382	0
	上半期	726,016	2,050,503	1,650	2,778,169	2,434,691	343,478
	下半期	39,060	2,050,504	1,650	2,091,214	2,434,691	▲ 343,478
	今年度	766,280	4,025,845	3,300	4,795,425	4,795,425	0
	上半期	704,120	2,012,923	1,650	2,718,693	2,397,713	320,980
	下半期	62,160	2,012,922	1,650	2,076,732	2,397,712	▲ 320,980
上半期実績額	4月	394,960	32,537	55	427,552	124,573	302,979
	5月	53,393	46,839	55	100,287	252,115	▲ 151,828
	6月	185,648	296,298	2,419	484,366	460,412	23,954
	7月	6,887	324,345	1,385	332,618	313,064	19,554
	8月	6,930	323,212	51	330,195	305,791	24,404
	9月	6,964	364,364	315	371,643	290,893	80,750
	今年度 上半期合計	654,782	1,387,595	4,280	2,046,661	1,746,848	299,813
	前年度 上半期合計	696,055	1,351,650	785	2,048,490	1,839,701	208,789
	対前年度上半期比				▲ 0.1%	▲ 5.0%	

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

③

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	○	診療報酬が指定管理者の収入となるのは、診療月の2ヵ月後であるため、6月のボーナスの支払に備え、指定管理者側が資金不足を起こさないよう、県が年度当初に指定管理者に対し、政策医療交付金を多く支出している。また、薬品費の単価決定には価格交渉を行うため、支出は年度途中からとなっている。このため、収入額が支出額の117%となった。
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：一円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
積立等	224,016	借入金（オーダリングシステム）
	39,990	退職金積立
	0	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	16,510 人	16,581 人	▲ 0.4 %
	(内訳) 外来 11,835 人	11,975 人	▲ 1.2 %
	入院 4,480 人	4,395 人	1.9 %
	救急 195 人	211 人	▲ 7.6 %
5月	17,914 人	16,732 人	7.1 %
	(内訳) 外来 12,708 人	11,547 人	10.1 %
	入院 4,958 人	4,914 人	0.9 %
	救急 248 人	271 人	▲ 8.5 %
6月	17,829 人	18,722 人	▲ 4.8 %
	(内訳) 外来 13,026 人	13,448 人	▲ 3.1 %
	入院 4,620 人	5,059 人	▲ 8.7 %
	救急 183 人	215 人	▲ 14.9 %
7月	19,559 人	18,819 人	3.9 %
	(内訳) 外来 13,379 人	12,857 人	4.1 %
	入院 5,917 人	5,679 人	4.2 %
	救急 263 人	283 人	▲ 7.1 %
8月	19,572 人	18,341 人	6.7 %
	(内訳) 外来 13,488 人	13,110 人	2.9 %
	入院 5,883 人	4,989 人	17.9 %
	救急 201 人	242 人	▲ 16.9 %
9月	17,961 人	17,913 人	0.3 %
	(内訳) 外来 12,317 人	12,496 人	▲ 1.4 %
	入院 5,404 人	5,184 人	4.2 %
	救急 240 人	233 人	3.0 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期 利用者数	目標対比 増減率	前年同期対 比増減率
今年度 上半期計	合計 108,819 人	109,345 人	107,108 人	0.5 %	2.1 %
	外来 76,790 人	76,753 人	75,433 人	▲ 0.1 %	1.8 %
	入院 32,029 人	31,262 人	30,220 人	▲ 2.4 %	3.5 %
	救急 — 人	1,330 人	1,455 人	— %	▲ 8.6 %
今年度 下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %
	— 人	— 人	— 人	— %	— %
	— 人	— 人	— 人	— %	— %
	— 人	— 人	— 人	— %	— %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度上半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度上半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数	5	4	5	3	0	17
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(2)	(3)	(0)	(5)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

横浜市磯子地域の中核的病院として、診療所に対する患者の紹介・逆紹介、地域医療機関からの検査受託など地域医療機関との連携に重点を置いた医療を提供している。7月より外科医1名、泌尿器科医1名医師増による診察枠の拡大及び手術件数の増や、近隣医療機関へ患者紹介依頼に回ったこと等により、入院・外来患者とも前年度同期と比較して増加した。

救急患者は前年同期を下回ったが、7月より救急隊から医師へ直接繋げる専用回線を開設し、救急搬送患者受入れまでの迅速化を図るなど、受入れ増加のための工夫を行っている。

また、市内で分娩施設数が増えない中で引き続き年800件ペースの分娩を実施し、助産師外来、乳房外来も安定的に運営するなど、地域の産科医療において大きな役割を果たしている。

施設の運営管理は良好に実施されているので、今後も継続して充実を図るよう指導していく。